

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:滋賀県彦根市

1. 事業名	イクボス・働き方改革セミナー開催事業									
2. 実施期間	令和元年6月19日 ~ 令和2年3月31日									
3. 事業の趣旨・目的	<p>少子高齢化により労働力人口の減少や核家族化が進み、価値観が多様化してきている現在においては、「男性は仕事、女性は家庭といった」固定的な役割分業意識や、長時間労働をはじめとした従来の働き方を見直す必要がある。性別にかかわらず誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を有する健康で豊かな生活を送るためには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現が不可欠であり、このことは、働く女性の推進や支援につながるものである。このことから、市内事業所へ働き方の見直し、ワーク・ライフ・バランスの推進への意識改革に加え、イクボス宣言を行った事業所や検討している事業所が具体的な手法を習得することを目的に実施する。</p> <p>また、事業所関係者が、これから就労する世代の若者が働きやすい職場をどのように考えているかを知る機会を持つことにより、事業所のワーク・ライフ・バランスやイクボスの推進により、女性が働きやすい職場づくりにつなげ、女性活躍の推進を図る。</p>									
4. 事業内容	<p>市内事業所の経営者や管理職、人事・労務担当者を対象に講演会を開催したことにより、ワーク・ライフ・バランスの必要性やイクボスの推進、働き方改革の取組方について学ぶとともに、先進的な取組を行っている事業所の事例を学んだ。</p> <p>また、今回新たに、違った側面から女性の働きやすい職場づくりを考えるため、事業所と市内および県内の大学生による「働き方」や「女性活躍」に関するディスカッションを行い、事業所関係者が、これから就労する世代の若者が働きやすい職場をどのように考えているかを知る機会を持った。</p>									
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>市内事業所の経営者や管理職、人事・労務担当者を対象とした第1部では、参加者にアンケートを行った結果、アンケートを提出された9割以上の方が「大変参考になった」「参考になった」と回答され、講演内容にあったイクボス、職場における男性の育児休業取得が与える影響について認識が深まった。</p> <p>事業所と市内および県内の大学生を対象とした第2部では、アンケートを提出された参加者のうち、7割近い方が「大変参考になった」「参考になった」と回答され、意見交換によりそれぞれの立場での現状認識をし、「イクボス」「働き方改革」に対する課題を見つけることができた。</p> <p>審議会での事業検証における総括:一般企業の参加が少ない、参加された事業所は女性活躍等について関心が高いと思われるが、一方で、参加されなかった事業所の抱える課題を把握する必要があるのではないか。2部では初対面の学生同士が、自己紹介や打ち解けるための時間が短かった点が、その後の意見交換への展開に影響しているのではないか。これらの課題を踏まえ、次年度の事業を展開する必要がある。</p>									
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>市内事業所の経営者や管理職、人事・労務担当者を対象とした第1部では61名、事業所と市内および県内の大学生を対象とした第2部では59名の参加があり、参加者には、社会における女性活躍につながるイクボスの有意義性、ワークライフバランスの必要性について、一定の理解が得られた。しかしながら、滋賀県イクボス宣言市内企業登録数は、19社(R2.1月末現在)であり、目標値の25社を下回る結果となった。イクボス、働き方改革、女性活躍に対し、意識の低い事業所への啓発、参加に繋がりにくかった。また、第2部では、学生に対し、「イクボス」「働き方改革」「女性活躍」の基本知識を学習する時間が短かったため、その後の意見交換への展開に影響した。</p>									
7. 今後の課題	イクボス宣言事業所は、まだまだ少なく、「イクボス」「働き方改革」「女性活躍」に対する認識、取組には、関心のある事業所とそうでない事業所の差が大きい。関心の薄い事業所に対し、個別に課題を見つけ、「イクボス」「働き方改革」「女性活躍」の有意義に気づいてもらえるような働きかけが必要である。									
8. 事業の実施体制	彦根市男女共同参画審議会(産業団体関係者、行政機関関係者、学識経験者、金融機関関係者、労働団体関係者、教育関係者、農林水産団体関係者)において連携を図った。また、県や他市町、環びわ湖大学・地域コンソーシアムと連携し周知を図った。									
9. 経費の内訳	(単位:円)									
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考	
①	イクボス・働き方改革セミナー	(1)	31年度当初予算	31年度予算	241,720	120,000	0	121,720	暫定予算→H31年度当初予算成立(6.19)	
	合計				241,720	120,000	0	121,720		
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:彦根市企画振興部企画課女性活躍推進室 電話番号:0749-30-6101 電子メールアドレス:kikaku@ma.city.hikone.shiga.jp									
11. 事業実施及び連携工程	様式4-1-1に記載									

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「30年度当初予算」、「30年度補正予算」、「31年度当初予算」、「31年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「30年度予算」、「30年度二次補正予算」、「31年度予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。